



第117号

社会福祉法人
 ロザリオの聖母会
 千葉県旭市野中4017
 Tel (0479) 60-0600
 ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
 メールアドレス
honbu@rosario.jp

海上療養所の認知症精神科訪問診療

海上療養所 副院長 上野秀樹

海上療養所では、平成21年11月より、認知症高齢者の方に対する精神科訪問診療を開始しました。

皆さん、認知症のことをご存じですか？人間は、脳の神経細胞の働きで、考えたり、行動したり、毎日の生活を送っています。認知症とは、この大切な脳の神経細胞が何らかの原因で死んでしまい、いろいろな症状を生じてくる病気のことをいいます。認知症の方は、脳の神経細胞が死んでしまったことによる、物忘れや判断力の低下などの知的な能力の低下、認知機能障害に加えて、不安、抑うつ状態、物盗られ妄想、精神運動興奮状態、不潔行為などの精神症状や行動障害を生じてしまうことがあります。

こういった精神症状や行動障害は、「認知症に伴う行動・心理症状 Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia」とよばれ、英語の頭文字をとってBPSDと略称されます。こういったBPSDが生じてくると、介護者が

疲れ切ってしまう、認知症の方を家庭や施設で介護するのが困難になってしまいます。

多くのBPSDは対応の仕方を工夫したり、ケアのやり方を変え



たりすることで改善させることができます。しかし、何らかの精神障害や人格的問題が関係しているBPSDや、認知症で合併することが多い、いわゆるせん妄状態と呼ばれる精神症状は、対応やケアの仕方の工夫で改善しないことも多く、精神科医療の出番となります。

す。精神科医療では、こういった精神状態を評価し、薬物療法を中心とした治療を行います。かならずしもすべてのBPSDやせん妄状態が精神科医療の介入により改善するわけではありませんが、少量の薬物療法で劇的に改善したりすることもあり、精神科医療はBPSD対応の有効な手段の一つです。

しかし、ここで大きな問題がひとつあります。高齢者の方、特に認知症のある方は医者嫌い・病院嫌いの方が意外とたくさんいらっしゃいます。医療機関に連れて行くことができず、外来受診が困難なことが多いのです。

そこで我々は考えました。患者さんが外来にいらつしやれないのであれば、こちらから出向いていこうと。

おかげさまで、訪問診療は順調に患者数が増えています。現在では、1ヶ月の新しい患者さんが30名にものぼるほどです。

医師1名、看護師1名、PSW1名、事務員1名の小さな所帯ながら、さらに大きな発展を目指しがんばっています。応援よろしくお願いたします。

先人の足跡③ 旧司祭館を愛した土居先生

理事長 細瀨宗重

このたび旧司祭館を手入れして土居健郎記念館として整備した。

この健物は昭和の一桁時代に戸塚文卿師によって建設され戸塚文卿神父が海上寮に滞在するときの住居として使われた。であるから、実に75年以上この地に立って、海上寮・ロザリオの聖母会の事業を見つづけてきたことになる。

またこの時代、千葉県にはカトリックの聖堂がこの海上寮と茂原の二箇所しかなかった。

であるから日本のカトリック教会にとつて、この海上寮は千葉や茨城における宣教の拠点ともなっており、パリミッシヨンの宣教師をはじめ、多くの神父がこの建物に宿泊し滞在した。

このような事情と、戸塚神父が戦前のカトリックを代表する神父の一人であったこともあり、海上寮は日本のカトリックにとつて御殿場の神山復生園(ライ)と並び、戦前のカトリック系の施設としては二大拠点のひとつであった。このようなことから、あるいは応援・

このたびこのような土居先生の功績を長くとどめるために土居健

郎記念館として整備したものである。

先人の碑の整備

理事長 細瀨宗重

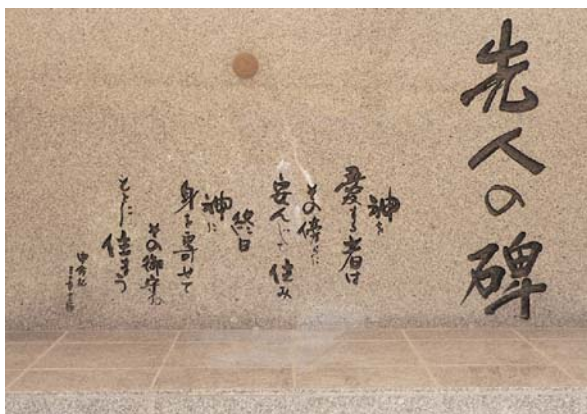
10月6日、私ども社会福祉法人ロザリオの聖母会の創立記念行事の一環として先人の碑の除幕式が行われました。

創立記念行事はロザリオの聖母の祝日(今年10月7日)に近い日を選んでおこなっているものですが、

今年、森司教様の「信じるというこ」という講演に続いて先人の碑の序幕が行われました。

先人の碑は、私どもの施設を戦後再興し、これを維持・充実・発展させてきた4人の方々の記憶するための碑です。

4人の方々のお墓は東京の五日市にあり、誰もが気安くおまいりするところではないと聞かれます。せめて命日にはお花をささげたいという関係



者の希望をかなえるために、建立させていただいたものです。

白御影石・畳一畳を横にした形で、前面には、「神を 愛する者はその傍らに 安んじて住み 終日 身に寄せて その御守りのもとに住まう 申命記三十三章十二節」と記され、中央に彼女らの支えであったロザリオがあしらわれています。

裏には、「われは主のはしためなり ルカ一・48」として、それ、中沢きみ子・小原ケイ・長岐久子・和田ハツ江の名とともに、その生年月日と召天日が記されています。

場所は、小原ケイ記念聖堂の裏正面です。近くにおいでの際は是非立ち寄っていただければと願っております。

ワークキャンプ実習記録より

聖心女子学院 水島 寿美

今日は、歯みがき・食事介助・ふれあい・その他職員の方のお手伝いをさせていただきました。日に日にやらせていただきました。日が増えて楽しかったです。

歯みがきはすごく難しくて上手くできなかったもので、残念でした。食事介助は、前日と同じ方の担当をさせていただいたので、慣れてきてスムーズにできました。今日初めてゆっくりと担当の室以外にも回ってみたら、結構お話ができる方がいたり、歩ける方がいるのに驚きました。担当だった5、6号室の方々とは結構ふれあう時間があったので愛着がわいてしまい、離れ難かったです。本当に一人ひとりの笑顔がすてきでいやされませんでした。3日間お忙しいのに、質問に答えたり、指示を出して下さり、ありがとうございます。

今回の体験で、「個人」を大切にしていることをすごく感じました。

一人ひとりに対してリハビリも体勢も食事もすべて決めてあつて接し方も変えていて感心しました。また是非お手伝いしに來たいです。3日間ありがとうございます!!

(聖母療育園)

聖心女子学院 橋谷 智子

今日は始め、聖マリア園についての詳しい説明をしていただいた。仕事の役割、勤務時間、そしてどう接しているのか、他の施設との違いなどを教えていただけた。そしてこの仕事への誇りなども感じられ、この仕事を通してお金では手に入れない人間性などが得られるというのはとても貴重なこととであり、大切なことであると思つた。

その後、リネン交換などを教えてもらった。一つのベット、寝る場所を作るのに多くの手間、時間がかかることを肌で実感し、良い経験ができたと思う。

その後、食事介助をやらせてい

いただき、昨日よりも話すことができ、嬉しかった。3日間ありがとうございました!

聖心女子学院 三浦 萌子

本日は、朝食後ホールで利用者さん方と触れ合い、クリーン班に参加させていただきました。食堂を掃除するという事で、机や椅子の移動の手伝いや、壁や机のふき掃除をしました。作業も始めると早いのですが、作業までの時間がやはり一時間くらいかかり、団体行動の難しさを感じました。

今回のワークキャンプを通して、様々な事に驚き、感じ、学ぶ事ができました。職員の方がしっかりと利用者さん達を把握し、サポートにまわっていらつしやつたので、すごく大変な仕事をこなしているのだと尊敬しました。

やはり、自分と利用者さんとの距離というのが難しく、自分の中ですごく考えましたが、今後このような施設で、たくさん利用者者さんたちに教えてもらいたいなと思います。三日間ありがとうございました。

(聖家族園)

新事務所増設

東総障害者就業・生活支援センター
主任雇用支援ワーカー 辻内理章

8月10日にみんなの家西側に、事務所を増設していただきました。

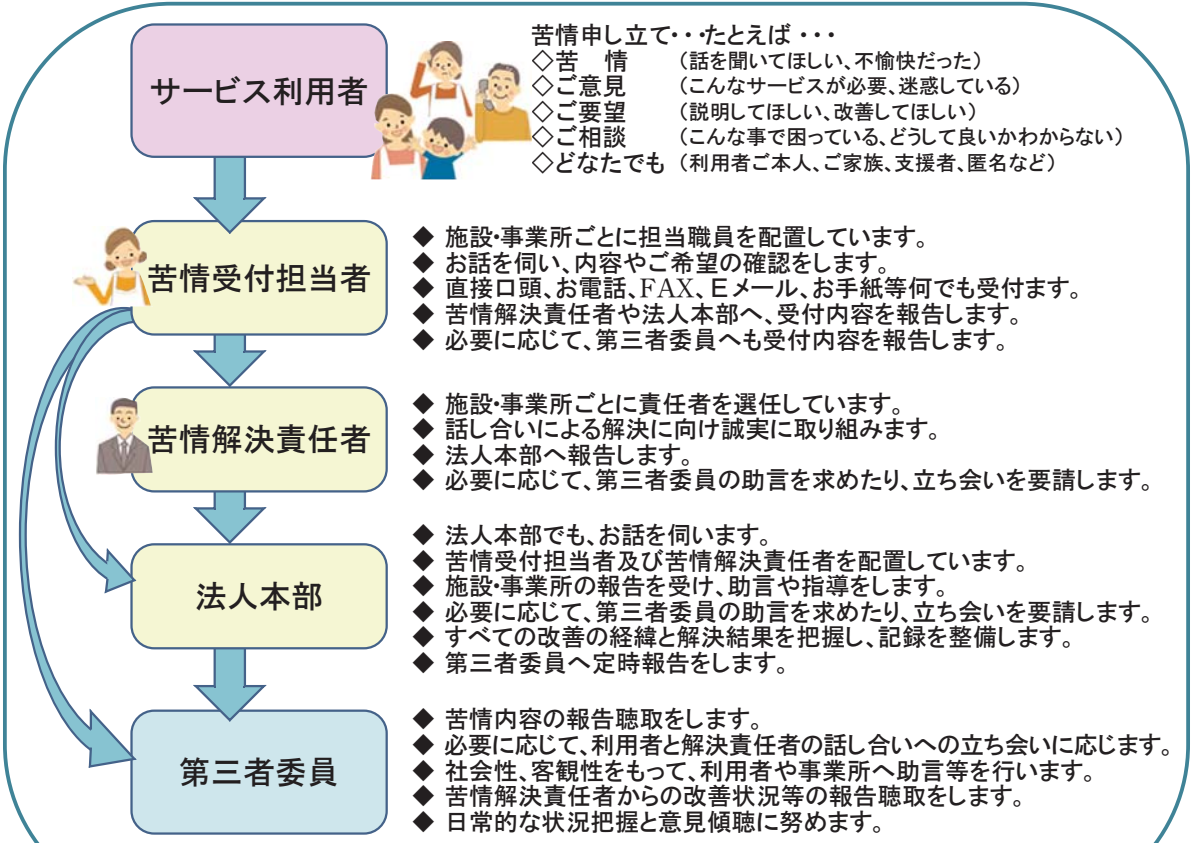
就業・生活支援センター事業を受託した平成19年度は、匝瑳市のJR八日市場駅前にも事務所を構え、20年度からは、みんなの家との連携と就労に向けた取り組みの強化として、事務所をお借りし、今年度平成22年度にこの新事務所を建て増していただきました。

今まで以上に相談者が利用しやすくなったことと、就労移行班との更なる強化を目指し今後も頑張りたいと思っています。



ご意見・ご要望・苦情解決のための仕組みについて

利用者の皆様の権利を擁護するとともに、施設・事業所のサービスの質を向上させ、快適に利用することができるよう支援します。



苦情申し立て・・・たとえば・・・

- ◆ 苦情 (話を聞いてほしい、不愉快だった)
- ◆ ご意見 (こんなサービスが必要、迷惑している)
- ◆ ご要望 (説明してほしい、改善してほしい)
- ◆ ご相談 (こんな事で困っている、どうして良いかわからない)
- ◆ どなたでも (利用者ご本人、ご家族、支援者、匿名など)

※本会で、苦情解決が図れない場合
※利用者が直接苦情を申し出た場合

苦情解決のあつせんを委ねます



運営適正化委員会

- ◆ 千葉県社会福祉協議会内に設置されています
- ◆ 連絡先: 電話 043-246-0294
FAX 043-204-6013

社会福祉法人ロザリオの聖母会

〒289-2513 千葉県旭市野中4017
電話 0479-60-0600 FAX 0479-60-0660
Eメール kujo@rosario.jp (本部苦情受付専用)



詳しくは、「苦情解決マニュアル」「苦情申出窓口の設置について」「苦情解決担当者一覧」をご覧ください。

聖家族作業所



支援員

越川 幸枝
今年7月より常勤となりましたが、作業所での勤務歴は6年目を迎えました。テキパキと仕事をこなし、利用者さんとの関わり方も上手！今後の活躍に期待します。



薬剤師

山下 智子
薬剤師経験豊富で存在感のある方です。バラ栽培が趣味です。ご自宅はバラに囲まれているそうです。



精神保健福祉士

向 縄 紀 子
遂に、この8月から憧れのPSWに！ステンドグラスに夢中な神戸生まれ。どうぞ仲良くして下さい。



看護師

石毛 良枝
認知症訪問診療担当。高齡者デイの経験有。現在少数の部署ですが、毎日外へ出てがんばっています。よろしく。

新任者紹介



ゆめ半島 千葉国体 旭市炬火リレーに参加!!

聖家族園 係長 古山勇一

平成22年8月6日、14時より「ゆめ半島千葉国体・旭市炬火リレー」に聖家族園の平野綾子さんが参加しました。当日は気温も高くかなり暑い状況でしたが、無事に担当区間を走りきることができました。本人はもちろんのこと、施設を挙げて応援を行い、施設全体で有意義な時間を楽しむ事ができました。



「しあわせは個性である」という考えや「しあわせはなるものではなく感じるもの」ということを今回の炬火リレーでも、確認できたような気がします。利用者が主役となり社会参加できたことに、施設としても満足しています。

障がい者の社会参加は、想像より困難も多い実情ですが、実際に参加してみると「人の温かさ」に「触れ」もう一つの現実を知ることでもできました。「人は皆、やさしい」今回の経験が、多くの

思いや意思を尊重しながら利用者と共に過ごすことが大切なのではないかと考えています。緩やかな時間の中で、走っていても、歩いていても、横になっただけでもそこにある思いが充実していれば「しあわせ」なのだと思えます。施設理念の一つとして、「障

方の勇氣になればと思います、参加を決意してくれた綾子さんに感謝いたします。今後、このような機会には積極的に参加し、社会貢献を行っていきたいと思います。綾子さん、ありがとう。

牛乳パックの回収活動

聖家族作業所 主任 尾形豪拓

2009年4月に始まった、エコカー税制。そして5月には家電エコポイント制度が導入されました。特に今年9月のエコカー補助金の終了を目前に、駆け込みで購入を検討される方々を各メディアで目にしたのは記憶に新しいところです。

エコカー税制・家電エコポイントとは、簡単に例えるなら地球温暖化対策、いわゆる地球にやさしい生活の普及が目的です。聖家族作業所においては、2002年の開所当初から牛乳パックを原料とした植木鉢作りに取り組みしてきました。そんな中、2009年10月に全国牛乳パックの再利用を考える連絡会の活動を知りました。同連絡会では、牛乳パック

と環境についての取り組みとして、牛乳パックの回収活動を公共施設・学校等を中心にした新しい活動拠点を作るため、回収ボックスの配布を行っています。2010年4月から当法人でも各施設の協力により回収ボックスを10ヶ所設置しています。皆様からご協力いただいた牛乳パックについては、聖家族作業所のリサイクル班での活動で使用させていただきます。

現在では、しおり・ぼち袋等を作成し、しおりについては旭市内の図書館や書店に置かせていただいています。市民の皆様にもリサイクル活動について知っていただけたらと考えています。



牛乳回収ボックス



旭市民会館



金床書店



▲聖家族園 運動会
「笠地藏の劇をしました。」



▲聖マリア園 納涼祭
「いっぱい楽しんでます！」



▲聖家族作業所 スポーツ大会（7月16日）
「スポーツ大会が始まるよ！はいチーズ！」



▲聖家族園 海水浴
「海水浴に来ました。」



▲第10回佐原聖家族園 納涼祭
「ワッショイ!ワッショイ!」 手づくりのおみこしだよ☆



▲聖家族作業所 スポーツ大会（7月16日）
「やったあ！パンげっとお!!」



▲第10回佐原聖家族園 納涼祭
「浴衣姿！すてきでしょう？」



▲第10回佐原聖家族園 納涼祭
「トウース」おいしい食卓。楽しいひとときをすごせて良かった。

行事予定

- 22.10. 1 上半期人事考課月間
- 2 ロザリオ福祉まつり実行委員会
- 6 創立記念日行事、経営会議
- 8 クリーンデー
- 13 法人運営会議、経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 20 経営会議
- 23 家族会交流会
- 24 第21回ロザリオ福祉まつり
- 27 地域生活支援会議
- 11. 9~11 新採用職員研修会
- 10 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 12 建築工事・車両整備入札、クリーンデー
- 17 法人運営会議、経営会議
- 24 理事会、評議員会、地域生活支援会議
- 25~26 印旛健康福祉センター監査
- 12. 1 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 8 障害者週間行事(ロザリオ福祉作文コンクール表彰式・ボランティア感謝式・講演会)、経営会議
- 9 対策本部会議、総合安全対策委員会
- 10 クリーンデー
- 15 法人運営会議、経営会議
- 25 クリスマス休日
- 30~ 1. 3 年末年始休暇
- 23. 1. 4 新年あいさつ会
- 5 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 12 経営会議
- 14 クリーンデー
- 19 法人運営会議、経営会議
- 26 理事会

広報・情報は新しい「福祉」

私たちは広報の重要性について再認識する必要があるように思われる。より正確に言えば、福祉の世界ではいまや広報・情報はそれ自体がひとつの「福祉」としてのジャンルを確立するようになってきているのではないか。

これまでの広報は何かの付随物とみなされるところがあった。

しかし、どこで何が行われているか、どこにどのような資源があり、どのようにすればその資源を使うことができるのか。必要な知識はどこに行けば得られるのか。

それらを知ることは、知るだけで問題の半分は解決する場合がある。まず、せつかくの資源(人的・物的あるいはソフト・ハード)および社会の動きを地域の人みんなが知っていることが基本である。それらは成果として数字には表れない。しかし、地域住民に計り知れない安心感をもたらす。ロザリオの聖母会では、この一年で、広報を形として確立すべく努力しているところである。皆さんの意見をお願いします。

(ほ)

専用メールアドレスのお知らせ

ご意見、ご感想のある方は下記のアドレスまでお願いします。

koho@rosario.jp

ボランティア募集のお知らせ

ロザリオの聖母会では、施設行事のために常時ボランティアを必要としています。

関心のある方は是非、ご連絡ください。ご協力をお願いします。

問い合わせ

TEL 0479(60)0600

(担当 仲條)

看護職員募集のお知らせ

精神科、障害児者医療に携わる看護師を募集しています。

◆随時面接を行っておりますので、本部総務課までご連絡ください

TEL 0479(60)0600

(担当 採用係)

編集後記

▼新人職員さんも、そろそろ職場に慣れてきたころだと思えます。気を緩めずがんばっていきましょう。(O・T)

本誌のバックナンバーをロザリオウェブサイトに(<http://www.rosario.jp>)に掲載しています。

精神科・内科(医療保護施設)

海上療養所

精神障害者通所授産施設

ワークセンター

地域生活支援センター

友の会

重症心身障害児施設

聖母療育園

重症心身障害児通園施設

聖母通園センター

障害児デイサービス

ふたば保育園

身体障害者療護施設

聖マリア

生活介護事業所

聖マリアデイサービスセンター

知的障害者更生施設

聖家族

知的障害者通所授産施設

みんなの家

障害者就業・生活支援センター

東総障害者就業・生活支援センター

生活介護事業所

聖家族作業所

高齢者支援事業

ロザリオ高齢者支援センター

ロザリオ訪問介護事業所

中核地域生活支援センター

海匝ネットワーク

旭市相談支援事業

旭市相談支援センター

共同生活介護・共同生活援助事業所

グループホーム支援センター

知的障害者更生施設

佐原聖家族園

重症心身障害児通園施設

つどいの家

共同生活介護事業所

ケアホーム香取

香取市相談支援事業

香取障害者支援センター